

腸管出血性大腸菌感染症

(O157など) について

腸管出血性大腸菌感染症とは

- 腸管出血性大腸菌（O157など）が体の中に入り、この菌が産生する「ベロ毒素」によってひきおこされる病気です。腸管出血性大腸菌は感染力が強く、比較的少量の菌でも感染者（患者・無症状病原体保有者）の糞便などから二次感染する（感染が他の人に広がる）ことがあります。

- 下痢・腹痛・発熱などの症状がある時は、早めに受診しましょう。



症 状：下痢（軽いものから水様便や血便）、腹痛、発熱等
※血尿や貧血などの合併症を起こすことがあります。
※無症状の場合もあります。

感染経路：腸管出血性大腸菌がついた食べ物などを介して、口から体に入ることによって感染します。
感染者の便中の菌が、手を介して口の中に入ることで、人から人へうつることがあります。

潜伏期間： およそ3～8日間

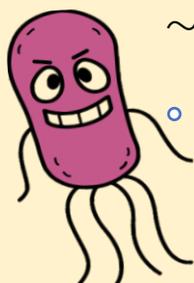
腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

- こまめに**手洗い**をしましょう。
- 生肉（主として牛肉やレバー）には腸管出血性大腸菌が付着していることが多いので、**十分に加熱**して食べましょう。
- 生肉に触れた箸を口に入れないうちに、**焼く箸と食べる箸を使い分け**ましょう。
- まな板やふきんなどの**調理器具は清潔**にしましょう。
- 肉を切った後のまな板などは、よく洗ってから、次の調理をしましょう。



YouTube「目指しまっし！感染症マスター」

～腸管出血性大腸菌感染症を攻略しよう！～



腸管出血性大腸菌

腸管出血性大腸菌感染症についての動画です。
ぜひご覧ください。



(制作：金沢市保健所)

二次感染予防について

こんなとき、手を洗いましょう

- トイレの後
- 食事の準備、食事を食べる前
- 外出先から帰った時
- 動物に触った後
- おう吐物や便等の後片付けをした時

その他の注意

- 感染者は最後に入浴するか、シャワーだけにし、他の家族と一緒に入るのはさげましょう。
- タオル、バスタオルの共有はやめましょう。
- 便で汚れた下着類は汚れを落として、塩素系漂白剤や熱湯につけて消毒し、他の家族のものと別に洗濯しましょう。

※ 便を検査中の方は、結果が判明するまで、飲食物に直接接触する業務に携わることや、プール等は控えてください。

消毒について

- 消毒は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム希釈液を用いて行います。
- 消毒液を十分含ませた布で、トイレの便座やレバー、ドアノブ等、手の触れる場所を消毒してください。
- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方
水1Lに家庭用塩素系漂白剤 20ml（原液濃度5%の場合）を混ぜ合わせます。



金沢市保健所

〒920-8533 金沢市西念3丁目4番25号

TEL：平日 8:30~17:15

076-234-5102（代表）

076-234-5116（感染症対策係） 担当（ ）

正しい手洗いの方法



引用：看護roo!正しい手洗いの方法（衛生的手洗い）のイラスト
https://www.kango-roo.com/ki/image_1829/